

視覚障害いろは歌

「視覚障害いろは歌」とは

今回、視覚障害をテーマにした障害者理解促進事業を開催するに当たり、準備の段階からご協力いただいた市内の視覚障害者団体「ひとみサークル」会員の鈴木儀一郎氏が、視覚障害にまつわる様々な事柄や想いを歌った「いろは歌」を、制作・提供していただきました。これらの歌の中には、視覚障害者の日常生活やお困りごと、温かいご支援への感謝など、様々な想いが込められたものとなっています。制作者は全盲の方で、当初、「いろは歌」は点字で打たれた形で制作されました。それを訳して「かるた」の形にしてご紹介します。

い
生きてきた
視覚なくした
年とった

ろ
ロードレース
合せてくれる
伴走者

は
ハンデイは
印刷物が
読めぬこと

に
にぶい指
点字読んでる
じれつたさ

ほ
歩道での
段差教える
白杖つえの先

へ
返事して
うなずかれても
わからない

と
時計字の
位置で教わる
食器の位置

ち
チャンネルは
語り解説
美男美女

り
利用する
デイジー図書を
聞く夜長

ぬ
ぬれぬずみ
シヤワーのコック
探り当て

る
ルーペで
少し見えてた
頃の本

を
音訳の
優しい声に
聞き惚れる

わ
分かれ道
教えてもらえる
人を待つ

か
勘違い
少し曲がった
靴の先

よ
良い味と
色を尋ねて
旨さほめ

た
タクシーで
行先告げても
無い返事

れ
レンジでの
料理教わる
失明者

そ
そこにある
それがわからぬ
失明者

っ
通学で
点字読んでる
子をみかけ

ね
念入りな
中継放送
目に浮かべ

な
納得は
この手でふれて
からにする

の
乗り降りには
しつかり白杖^{つえ}で
確かめて

け
ケガさせた
盲導犬は
吠えもせず

あ
赤信号
音案内の
交差点

み
道しるべ
点字ブロック
誘導板

せ
背もたれに
ふれさせガイドも
座るイス

ら
ラッシュユでの
人は白杖
目にとめず

お
音訳の
図書聞く夜長
寝そびれる

ふ
ふれさせて
ください視覚
障害者には

さ
差し出され
握手する手の
温かさ

し
視覚者の
手助けグッズ
使う日々

す
住み心地
バリアフリーで
無い段差

む
向きを知る
車のドアに
手をそえて

く
黒か白
デイジー図書で
聞く推理

こ
心ない
人が白杖
邪魔にする

き
ギザギザと
穴の大きさ
硬貨分け

ゑ
エスカレーター
ベルトの位置を
教えてね

う
うしろから
押さないでね
こわいから

や
野菜の名
聞いて浮かべる
いろかたち

え
エレベーター
押ししてもらった
降りる階

ゆ
ゆるキャラの
顔までなでる
白い杖

ひ
引く手より
貸してください
肩と腕

る
イスの位置
背もたれ座面
教えてね

ま
幕が開く
前にも欲しい
ミュージック

て
テレビ見る
ラジオは聞いて
目に浮かべ

め
目が見えぬ
ことの不便さ
不自由さ

も
モノレール
ホームドアある
多摩の駅

制作者コメント
「視覚障害いろは歌」をお読みいただき、ありがとうございます。
ご賢明な皆様には、中途失明者の人々の助け・支えによる日常生活の一端を思っ
ただければ、幸甚でございます。
ひとみサークル 鈴木儀二郎